

散乱光光弾性応力計

model: SLP-1000

本体標準価格 ¥4,000,000

本装置は従来の導波光利用の表面応力計では測定できないLi+⇔Na+交換による化学強化ガラスの応力分布を散乱光光弾性を利用して測定可能にしました。表面付近にK+の層がある場合は導波光利用の表面応力計FSM-6000による情報と合成して断面の応力分布解析を行います。



- ❖ 屈折率分布に依存しない。
- ❖ 曲面ガラスへの対応が容易。
- ❖ ピンポイントで測定できる。
(レーザースポット径約10um)
- ❖ FSM-6000のデータと合成することができる。

* 合成には、別途、FsmV用ドングルが必要です。

仕 様

測定範囲	: 応力値 0-2000Mpa、応力層深さ 10-400uM
測定分解能	: 応力 5MPa 深さ 5um
測定精度	: 表面より深さ50um以上 応力±10MPa 深さ±10um (基準ガラスに対して)
光源	: LD (640nm) 30mw Class 3B
測定対象	: 化学強化ガラス、2段化学強化ガラス、物理強化ガラス
測定形状	: 平面-1000R 10×10mm以上
プリズム	: nD=1.516
PC	: 専用(OS、測定ソフト インストール済み)
OS	: Windows 10 professional edition
寸法	: W320*D280*H220mm(本体)
重量	: 10kg(本体)

有限会社 折原製作所

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-47-15

TEL 03-3985-9531 FAX 03-3985-9532

<http://www.ori-hara-ss.co.jp> e-mail ori-hara@ori-hara-ss.co.jp